

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

固定資産の減価償却は定額法によっています。

(2) 消費税等の会計処理方法

消費税等については税込方式によっています。

2. 基本財産及び特定資産等の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産等の増減額及びその残高は、次のとおりです。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	0	—	—	0
特定資産				
退職給付引当資産	14,652,087	3,002,940	—	17,655,027
その他固定資産				
有形固定資産				
建物	28,309,732	—	982,330	27,327,402
車両運搬具	220,984	—	220,983	1
什器備品	1,612,221	1,662,768	766,210	2,508,779
土地	59,000,000	—	—	59,000,000
無形固定資産				
ソフトウェア	456,535	—	182,614	273,921
給水設備水道権	119,269	—	32,200	87,069
合 計	104,370,828	4,665,708	2,184,337	106,852,199

3. 基本財産及び特定資産等の財源等の内訳

基本財産及び特定資産等の財源等の内訳は、次のとおりです。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの充当 額)	(うち一般正味 財産からの充当 額)	(うち負債に対 応する額)
基本財産				
定期預金	0	—	0	—
特定資産				
退職給付引当資産	17,655,027	—	17,655,027	—
その他固定資産				
有形固定資産				
建物	27,327,402	—	27,327,402	—
車両運搬具	1	—	1	—
什器備品	2,508,779	—	2,508,779	—
土地	59,000,000	—	59,000,000	—
無形固定資産				
ソフトウェア	273,921	—	273,921	—
給水設備水道権	87,069	—	87,069	—
合 計	106,852,199		106,852,199	—

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び期末残高は、次のとおりです。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	40,425,135	13,097,733	27,327,402
車両運搬具	1,181,780	1,181,779	1
什器備品	10,964,520	8,455,741	2,508,779
ソフトウェア	913,070	639,149	273,921
給水設備水道権	483,000	395,931	87,069

5. 担保に供している資産

該当している資産はありません。

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

振替はありません。

7. 関連当事者との取引の内容

取引はありません。

8. 重要な後発事象

該当はありません。

9. その他

財務諸表の勘定科目の表記についてより詳細な報告をする為、集約して表記する方法から個々の勘定科目にて表記することにいたしました。

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金、たな卸資産、前払金、有価証券、預け金、未払金、未払消費税等、預り金、未払法人税等、短期借入金を含めております。

2. 次期繰越収支差額の内容は次のとおりです

科 目	前期末残高	当期末残高
現金	223,718	1,487,296
普通預金	16,261,166	16,982,906
未収金	209,090	220,930
たな卸資産	311,558	257,696
前払金	1,192,749	0
有価証券	67,000	67,000
預け金	8,820	8,820
流動資産合計	18,274,101	19,024,648
未払金	1,839,676	1,906,622
未払消費税等	199,100	381,600
預り金	371,804	466,195
未払法人税等	422,100	226,400
短期借入金	5,000,000	5,000,000
流動負債合計	7,832,680	7,980,817
次期繰越収支差額	10,441,421	11,043,831